

国文学

第一〇二号

平成二十九年三月一日発行

(〒566-0601) 大阪府吹田市山手町三十三三三  
関西大学国文学会  
E-mail: kokubun@cmkansai-u.ac.jp  
電話(直通)〇六六三六八〇三二二  
郵便振替〇〇九四〇一六二五八四四

(〒530-0033) 大阪市淀川区木川東四一七三三  
株式会社遊文舎  
電話〇六六三〇四一九三二五  
E-mail: info@yubun.co.jp

国文学 第一〇一号

平成二十九年三月

学術刊行物  
ISSN. 0389-8628

平成二十九年三月一日発行

関西大学国文学会

関屋俊彦教授古稀記念特集

国文学と  
學子

平成二十九年三月  
第一〇一号

## 関西大学『国文学』投稿規定

- 一、投稿者は、原則として関西大学国文学会会員に限る。
- 二、委員会の承認があつた場合に限り、特例として、上記以外の者の投稿を認める。
- 三、投稿論文は、原則として四〇〇字詰め原稿用紙四〇枚以内とする。
- 四、投稿論文の採否は、委員会で決定する。
- 五、投稿原稿の返却を希望する場合は、切手を貼った返信用封筒を添付すること。
- 六、掲載された原稿の著作権は執筆者が有する。ただし、原稿の二次利用としての電子化利用の権利は、掲載時点で執筆者が関西大学国文学会に許諾したものとす。

## ◇編集後記

『国文学』一〇一号をお届けします。本号は、この三月をもって退職なさいます、関屋俊彦教授が古稀を迎えられますことをお祝いするべく、刊行いたします。

関屋教授は、本学文学部国文学科を卒業された後、本学大学院博士課程前期課程・後期課程と進まれ、一九七七年には武庫川女子大学文学部に専任講師として着任され、その二年後、一九七九年に関西大学文学部専任講師として着任されました。以後、三八年という長きにわたり、関西大学において研究と教育とを牽引してこられたわけです。本号は、その学恩に報いんと、二七名が寄稿し刊行するにいたりました。関屋先生といえは狂言史研究。そして「俵を重ねて面面に」の詞章もめでたく、ことあるごとに謡い舞いくださった姿が思い起こされます。研究に向かわれるお姿と、それを実践なさるお姿とに、人文学が目指すべき理想を教導たまわつたように思います。

関屋先生のますますご活躍と、そしてかわらぬご健康をお祈り申し上げます。

さて、関西大学は、早春の候。白梅の香りも芳しいこの頃です。国語国文学専修では、本年度も学士、修士、博士を含めて一三〇名ほどが卒業、修了していきます。(薫)